

TateYoko
journal

300人の未知なる挑戦の舞台裏。

【vol.11】「面白そう」は原動力。好奇心こそが最強の力。

2026
SUMMERKazuma Co., Ltd.
105 Yaemaicho, Fukui-City, Fukui, 910-0123, JAPAN
TEL/FAX: (0776) 56-4006 / (0776) 56-4007

自分のふくいを
のぞいてみる?

三国
花火大会

小浜市名物
くずまんじゅう

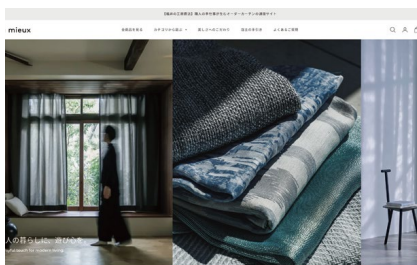
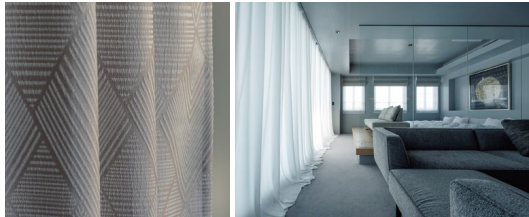
プロジェクト活動も
大盛り上がり!

夏といえど
やっぱり海!!

「La mieuX」
ECサイト
オープン

心地よい空間を演出。
美しく上質なフラットカーテンで、
La mieuXらしい世界観を表現。

カズマが長年培ってきた技術力・品質・開発力を結集して生まれたオリジナルブランド「La mieuX(ラミュー)」。お客様が思い描く、「少し贅沢で心満たされる空間」に寄り添いながら、私たちの美意識を丁寧に重ね合わせていくことを大切にしています。ECサイトでは、ブランドの世界観を感じていただけるよう、ナチュラルで落ち着いた色合い、やさしく上品なトーンで統一しています。



「La mieuX」ECサイトでは、テキスタイルを最も美しく見せる「フラットスタイル」を標準仕様として販売しています。タックを施さないシンプルなたたき立てが、布そのものの質感や表情を美しく引き立てます。また、細部にもこだわり、裾はすべてスローロック仕様に、厚みを持たせない繊細なたたき立てによって、光をやりわらかく透かし、生地本来の風合いや美しさをより一層引き立てます。ぜひECサイトにて特別な1枚を見つけてください。



新商品
NEW
リリース

体型を気にせず私らしく。
春夏秋冬、暮らしに馴染
む究極の「デニムワン
ピース」がリリース。

カーテンの自然素材ブランド「KURASIKU(クラシク)」から、これ一枚で一年中、体型を気にしない「デニムワンピース」がリリース。Sから3Lまで、どんな体型でも美ラインに魅せる魔法の形が魅力です。その形を生み出す秘訣はカズマが60年間向き合ってきたカーテンのドレープ技術と柔らかな綿100%カーテン生地。計算された仕立てで落ち感がよく、すっきりとした印象に見えます。一枚でも羽織りでも使える。暮らしに馴染んでいく心地よさをぜひ体感してみてください。



【公開期間】 4/28(火)～7/27(月)
【公開場所】 クラウドファンディング
Creema SPRINGS(クリーマスプリングス)



EVENT

『filament』POPUP 浅草
海外の方にも人気の手ぬいぐい店、かまね浅草店にて、ポップアップを開催します。クロス類を中心に、さまざまなアイテムを展開予定です。
【日時】 7/4(土)～7/20(月) 10:00～18:00
【場所】 かまね 浅草店(東京都台東区浅草1丁目29-6)

「のぞいて!つくって!食べてみる!」
夏のインターンシップを開催します。今回は例年とは少し内容を変え、社員との交流を通して、よりリアルな会社の雰囲気を感じていただけるプログラムをご用意しました!
【日時】 8/25(火)～8/29(土) 9:00～16:00
【場所】 カズマ 本社

株式会社カズマ求人のお知らせ
新卒採用&中途採用
カズマでは現在さまざまな職種で人材を募集しています。詳細はこちらをご確認ください。



ふるさと
納税に
寝袋登場

【キャンプや防災で大活躍】「スマート寝袋」が福井市のふるさと納税にて販売中!

アルミ糸のハイブリッドテキスタイル「eco-fine®」を採用した「スマート寝袋」が、福井市のふるさと納税に登場!重さはわずか800gという驚きの軽さで、収納時はA4サイズに、ダッシュボードにも入るので、もしもの時のために車に積んでおくのもおすすめです。通熱・保温性に優れたマルチな機能性で、キャンプや災害時の布団、大判ブランケット、収納したまま枕としても大活躍。薄手ながらもしっかりと快適さをキープ独自の高性能なアルミの力をぜひ自宅や屋外で体感してください。



A4サイズの3wayスマート寝袋
敷き / アウトドア / 車中泊
スマホと比較しても分かる、コンパクトで持ち運びにも便利なサイズ感



採用サイト
リニューアル

デザインもコンテンツも刷新。カズマらしい空気感を詰め込んだサイトへ。

「手さわりのある仕事」をテーマに、採用サイトをリニューアルしました。テーマである「手さわり感」を大切にし、文字や線にまで刺繍を施したデザインに、結川工場で働く社員の暮らしや働き方を紹介する「結川LIFE MAGAZINE」など、カズマらしいユニークな特集ページを公開しています。また、カズマが向き合う未来や課題解決への取り組みを、イラストを交えながら分かりやすく紹介するコンテンツも制作。ものづくりへの想いや働く人たちの空気感まで伝わるサイトを目指しました。

TateYoko Journal 2026 SUMMER
株式会社カズマ
〒910-0123 福井市八重巻町105
0776-56-4006
TateYoko creative shop



カーテンの新ジャンルを切り拓く!

15年の月日を経て開花。

カズマ自社開発「ユニスラット」が
世界を巡り、いよいよ日本に浸透中。

窓まわりスタイルの新たな選択肢として当社が開発した「ユニスラット」が今、韓国やオーストラリアをはじめ海外市場での採用が拡大し、国内でも支持を広げつつあります。今回はそんなユニスラットの魅力をご紹介します。

レースカーテンとタテ型ブラインドの
長所を融合した、新しいスタイル。

カーテンの王道といえば柔らかな風合いの布カーテン、そして光や視線をコントロールできるスタイリッシュなタテ型ブラインド。両者の魅力を融合して生まれたのが「ユニスラット」です。見た目はレースカーテンそのものですが、操作方法や機能性はブラインドと

ほぼ同じ。ルーバーを回転させれば採光を細かく調整でき、左右へ動かせば大きく開閉できるスタイリッシュなタテ型ブラインド。広く見せる効果もあります。カーテンでもなくブラインドでもない、まさに両者の「いいところ」の新しい選択の意スタイルなんです。



使われている生地は全て編みレース。
カズマのすごい技術が凝縮。

素材はカズマの結川工場で作られた編みレース。1枚の生地の中に厚みのある部分と薄い部分とが一体となっている独自の構造で、糸のテンションを変えながら編む高い技術を使っています。一般的なブラインドのように樹脂コーティングなどで固める加工がないため

生地が柔らかく、羽根をU字型に吊るす設計により美しいウェーブが生まれ、曇り時もその表情を保ちます。閉じても美しい曲線を描きます。また、ブラインドならではの「壊れやすい」「冷たい感じ」といったデメリットも回避、やわらかな陰影と立体感のある空間を演出します。

ここが違う! 01
スマートかつ繊細に光を
コントロールする調光性

一般的なブラインドは羽根の角度だけで光の量を調整するため採光の明暗がはっきり。室内にはストライプの影ができてしまします。一方「ユニスラット」は羽根自体が経線となで光が自然に拡散。厚地と薄地。異なるテクスチャが光に変化を与え、より繊細な調光を可能にします。空間全体をやわらかく均一に明るさをコントロールしてくれるんです。

ここが違う! 02
どこからでも出入りできる
「ウォークスルー設計」

「ユニスラット」の羽根は1枚1枚独立しているため、羽根をバラつかせないための裾下のボトムコードが繋がっていません。そのため開閉した状態でも羽根の間をすり抜けてペラペラと出入りが可能で、ペットや赤ちゃんがコードに引っかかるという事故リスクもありません。また羽根が汚れても1本ずつ外して洗ったり取り換えることもできます。

ここが違う! 03
風になびいても静かで揺れも軽減。
完全ノンストレス

タテ型ブラインドは、風が吹いた時に羽根同士が触れ合うパタパタ音や、揺れが伝わるカチャカチャ音が気になることがあり、強風時には羽根同士が絡まって破損の原因にもなる。ユニスラットは、一枚ずつ独立したU字形で吊るすので、そもそも羽根同士が触れ合うことがありません。風が吹いても驚くほど静か。風を優しく受け止めます。

ここが違う! 04
カーテン全体が軽い!
開閉が驚くほどスムーズ

タテ型ブラインドは大きな窓の相性が良いスタイルですが、窓が大きくなるほど生地の使用量が増えて全体重量が重くなり。その点「ユニスラット」は、レースで軽量なため大きな窓でも驚くほど操作が軽くて滑らか。力を入れず引くだけでスッと動いてくれます。カーテン全体の重量が抑えられることでレールへの負担も少ないのも嬉しいポイントです。

開発秘話

前例のない編み構造への
挑戦は今もなお進化中。

2011年に先代社長と開発に着手した当初は、部分ごとに糸のテンションを変えながら一体で編む技術は前例がなく「やってみるしかない」というのが率直な気持ちでした。開発してみるとわずかなズレでもシワや歪みが生じ、編み設計や加工条件を何度も見直したり機械を改造したりしながら理想の形を追求していきました。こだわったのは、加工後に生地がまっすぐ落ちること、ヒダが美しいU字を描くこと、きれいに閉じること、丈夫であること。そのすべてを高いレベルで実現するために15年の歳月を経て完成しましたが、今もなお進化中です。今後もより豊かなデザインや機能性、さらなる品質向上を目指していく予定です。



1週間にもわたる中国出張!!

学びあり、文化あり、おいしいものあり。
気づけば中国がもっと好きになっていました。

3月に開催されるアジア最大級のホームファニッシング・インテリア系展示会に向けて、カズマでは毎年中国出張を行っています。展示会場は、ハイテク都市・深圳にある巨大展示場。インテリア雑貨や照明など、空間づくりに関するあらゆるアイテムが集まります。今回は若手女性社員2名も同行し、中国をたっぷり満喫してきました!この出張は、展示会の視察や

工場見学だけが目的ではありません。中国スタッフとの交流を深めながら、中国を単なる生産拠点ではなく、同じものづくりを支える場所として文化から理解したいという想いもありました。深圳の食文化に触れたり、トレンドが集まる上海を訪れたり。ものづくりに対する学びはもちろん、仕事を通してただけでは見えてこない中国の魅力にもたくさん出会うことができました。

3日目
深圳の食を堪能
現地を知るには、まずその土地の食を味わうのが一番。今回の中国出張では、広東省ならではの食文化「早茶」を体験しました。

深圳の朝といえば、広東の食文化を体感する外せない「早茶(ザオチャ)」。訪れたのは、地元でも人気の広東点心のチェーン店です。ハーガウやシューマイ、鍋貼、チャーシューバオなど16種類の点心を味わいました。料理のお供にいただいたプーアル茶が口の中をさっぱりと整えてくれるので、ついつい箸が進み、気づけばお腹いっぱいにお腹も心も満たされる。深圳らしい朝のひとつとなりました。



広東省の伝統的食習慣「早茶」とは?
早茶(ザオチャ)とは、中国の広東省や香港を中心に古くから根付いている、朝の早い時間帯にゆっくりとお茶を点心を楽しむ食文化です。朝の7時頃から始まり、遅くとも15時頃まで行われます。



2日目
深圳展示会を
視察

中国のカズマブランド「FUJU」もこの展示会に参加。現地ならではの空気感やトレンドを肌で感じることができました。



6日目
上海を満喫

中国随一のトレンド発信地・上海へ。最先端のカルチャーや街並みに触れながら、新たな学びや発見がありました。



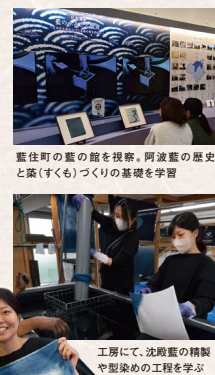
草木染めを極めるあたたか実プロジェクトが
藍の聖地・徳島研修へ!

職人の情熱・技術・町から学んだ藍の可能性

人や地球に優しい暮らしを考え、草木染めを広める「あたたか実」プロジェクト。本場の藍染を学びたいというメンバーの思いが、朝の早い時間帯にゆくりとお茶を点心を楽しむ食文化です。朝の7時頃から始まり、遅くとも15時頃まで行われます。

珍しい「念ふる藍」を体験!

藍住町の藍の館を視察。阿波藍の歴史と藍(すくも)づくりの基礎を学ぶ



工務にて、洗剤藍の精製や型染めの工程を学ぶ